

**インターネットの便利な機能の一つが電子メールです。**

普段、無意識に利用している人も多いただろうが、知っておくと便利な機能や、注意すべき点多々ある。

すぐにも覚えておきたい4つのポイントを紹介しよう。

**電子メールのマナーの一つが「署名」。**

メール本文の最後に、差出人である自分の名前や会社名、部署名、連絡先などを書き添える。あらかじめ登録しておけば、毎回、同じ内容を書く手間が省け、書き忘れを防ぐこともできる。

「ウィンドウズ7」に搭載されている標準メール「Windows Live メール」の場合(以下同様)、ウィンドウ左上のプルダウンメニューから「オプション」⇒「メール」を選び、「署名」のタブを開けば登録できる。

複数登録できるので、仕事やプライベートなど状況に応じて使い分けられる。

**ひとつのメールを複数の相手に同時に送信する際に利用したいのが「Cc」と「Bcc」です。**

「Bcc」も「Cc」と同様、同じメールが相手に届くが、大きな違いは、「このメールがBcc宛てに送られている」ということが、他の受信者にはわからないという点です。「Bcc」に入力した宛先は、受信者には見えない。第三者にもメールの内容を知ってもらいたい時などに使うと良い。

また、知人同士でない多数の相手にお知らせメールを送るときなどに、個人のアドレス情報を露出させないように使うのも有効です。この場合は、「宛先」に自分のアドレスを入力し、「Bcc」にお知らせメールを送る相手のアドレスを列記する。

**メールには「テキスト形式」と「HTML形式」があります。**

メールマガジンなどでよく見かけなのがHTML形式のメール(HTMLメール)です。ホームページのように文字などをカラフルにしたり、装飾したりできる。

Windows Live メールでは、送信時のメールがHTML形式になるように初期設定されているが、日常的に送信するメールは文字だけでやりとりするのが普通です。HTML形式で送るのは無意味というだけでなく、相手が使うメールソフトによってはHTMLメールが閲覧できないこともある。

あえてHTML形式にする必要がなければ、テキスト形式でメールを送信しよう。先程のプルダウンメニューから「送信」タブを開き、「メール送信の形式」で「テキスト形式」を選択する。

セキュリティ上の理由から、意識的にHTML形式のメールは読まないという人もいる。

Windows Liveメールの標準設定では、受信メールの件名を一覧表示する画面で、**本文も同時に表示する「プレビューウィンドウ」が開きます。**複数のメールを流し読み

する時などは便利ですが、HTML形式などを悪用したメールの中には閲覧しただけでパソコンがウィルスに感染してしまうものがある。この意味でも、HTML形式は使わない方が良いでしょう。

発信元や件名に心当たりがないメールが届いたら、開かず削除するのが賢明です。

**「プレビューウィンドウ」の機能もできればオフにしておきたい。**

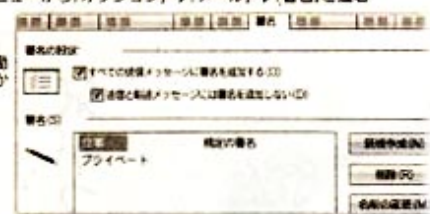
ウィンドウ上部の「表示」タブを開き、「プレビューウィンドウ」のアイコンをクリックして「オフ」を選ぶ。

また、ウィルス感染を防ぎためには、Windows やメールソフトのアップデートや、ウィルス対策ソフトの導入も忘れないで。

**4つのポイントを押さえておこう**  
(※いずれもWindows7の標準メールソフト「Windows Liveメール」の場合)

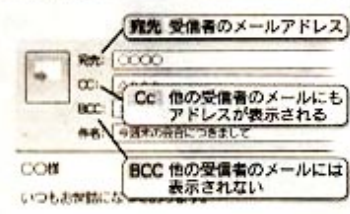
**point 1: ビジネスメールは「署名」入りがマナー**

- ウィンドウ左上のメニューから「オプション」⇒「メール」⇒「署名」と進む
- 複数の署名を登録できる
- 送信メッセージに自動的に署名を添付するかどうか選択可能



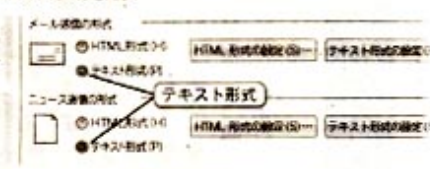
**point 2: 「Cc」、「Bcc」を使いこなそう**

- Ccは「カーボンコピー」、Bccは「ブラインドカーボンコピー」の略
- 宛先(To)にはメールの受信者のアドレスを入力
- Ccには「確認のために読んでおいてほしい」という人などのアドレスを入力。Ccに入力したメールアドレスは、ほかの受信者にも見える
- Bccに入力したメールアドレスは、ほかの受信者には見えない。知り合い同士ではない多数の相手にメールを送る場合などに使う



**point 3: メールは「テキスト形式」を選ぶのが無難**

- メールには「テキスト形式」と「HTML形式」がある
- 「テキスト形式」は文字のみ、「HTML形式」は文字の装飾などができる
- ウィンドウ左上のメニューから「送信」タブ⇒「メール送信の形式」⇒「HTML形式」か「テキスト形式」を選択
- HTML形式のメールは読まない、読まないという受信者もいる。文字のみのメールであれば、「テキスト形式」を選ぶ



**point 4: メールのプレビュー機能は「オフ」に**

- 受信メールを一覧表示する画面で、件名や送信者だけでなくメールの本文も同時に表示するのが「プレビューウィンドウ」
- 「プレビューウィンドウ」に表示されただけでウィルスに感染してしまう場合もある
- ウィンドウ上部の「表示」タブ⇒「プレビューウィンドウ」⇒「オフ」を選択